Rd リサイクルデザイン Recycle Design
RECYCLE Design
2023 SPRING
横浜の資源リサイクルを自治会・町内会の皆さんと共に！ No.291

きちんと理解しておきたい脱炭素の意味と最新の環境用語

環境問題の話題でよく耳にする「脱炭素社会」や「持続可能な社会」などの環境用語について、皆さんは正しく理解できていますか。今回は、環境問題を考える時に欠かせない用語の意味について簡単にご紹介します。

地球温暖化の原因となっているのがCO_2（二酸化炭素）などの温室効果ガスなのですが、このガスの発生を実質的にプラスマイナスゼロにすることを「脱炭素」と言います。そして実質ゼロを実現した社会が「脱炭素社会」であり、その状態を「カーボンニュートラル」と表現します。また、そのような社会を目指すことが「持続可能な社会」をつくるということになります。

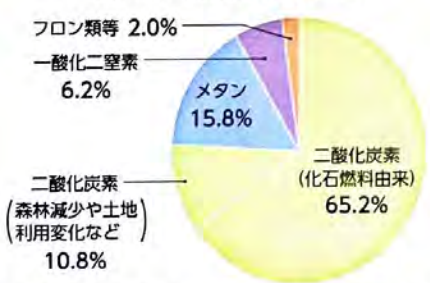
脱炭素しなければならない理由は、地球温暖化による「気候変動」の加速防止と、石炭、石油、天然ガス、ウランなどの「化石燃料」「天然資源」が、やがて枯渇してしまうためです。脱炭素社会を実現するために世界中の国々が合意した対策が「パリ協定」であり、「持続可能な社会」の実現のために国連加盟国が全会一致で採択した目標が「SDGs」なのです。

■ 理解しておきたい環境用語

サステナブル	「持続可能な」という意味。「環境を破壊せずに、社会や自然が未来まで継続できる」という考えを含む。SDGsはサステナブル・ディベロップメント・ゴールズ（持続可能な開発目標）の略。
バイオマスプラスチック	生物由来の資源を原料にしたプラスチックのこと。ただし、「生分解性プラスチック」は生物に分解されて自然にかえるが、バイオマスプラスチックは生分解性ではないものも多い。
リジェネラティブ	「再生される、再生式の」という意味で、自然環境をよりよい状態に再生させることを目指す考え方のこと。「リジェネラティブ農業」は環境再生型農業と訳され、土壌を修復・改善しながら環境の再生を促す農業を指す。
ダイバーシティ	「多様性」の意味で、人種、年齢、性別、宗教、価値観などのさまざまな属性を持つ人々が集団で共存している状態のこと。バイオダイバーシティは生物の多様性と生態系を指す。
ESG	Environment（環境）、Social（社会）、Governance（統治）の頭文字。持続可能な社会を実現するために企業の長期的な発展に必要な３つの観点として捉えられている。
CSR	Corporate Social Responsibility（コーポレート・ソーシャル・レスポンシビリティ）の略で、「企業の社会的責任」の意味。利益の追求だけでなく、社会の一員として環境保護活動やボランティア活動することも企業を評価するポイントとされている。
エシカル	「倫理的な」という意味。製品を生産する全過程で環境保全に配慮するという意味で捉えられることが多い。「エシカル消費」は、自然環境、人、社会に配慮したものを購入・消費することを指す。
フェアトレード	直訳すると「公正・公平な貿易」。途上国と先進国との貿易で途上国の生産者が不利益となる取引にならず、また、途上国の自然環境破壊や劣悪な労働環境の改善を目指す運動のこと。
SDGsウォッシュ、グリーンウォッシュ	SDGsウォッシュは、さもSDGsに取り組んでいるかのようにごまかすこと。同様にグリーンウォッシュは、環境に配慮したように見せかけること。企業広告で指摘されることが多い。
サーキュラーエコノミー（SE）	「循環型経済」の意味で、従来は廃棄されていた製品、原材料をリサイクル・再利用して資源を循環させる経済システム。資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑止などを目指すビジネスモデル。

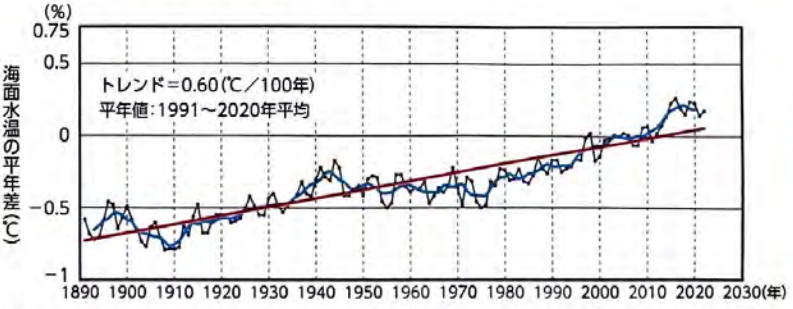
■ 人が排出する温室効果ガスの種類と割合

（2010年の二酸化炭素換算量での数値）



二酸化炭素（CO_2）は、温室効果ガスの76%を占めており、圧倒的に多い。 出典：気象庁

■ 年平均海面水温の長期変化傾向



2022年の海面水温は、統計開始以来６番目に高い値となった。
長期的には100年あたり0.6℃ずつ上昇している。 出典：気象庁

ごみと資源物の分別一覧

ごみと資源物の正しい分別は、資源リサイクルの基本です。下の分別一覧をよく確認して、間違いのないように分別しましょう。また、分別がわからないときは「ミクショナリー」や「イーオのごみ分別案内」で簡単に調べることができます。

資源集団回収

古紙

新聞

四つ折りにして束ねてください。折込チラシは一緒に出してかまいませんが、雑誌、その他の紙を同じ束の中に混ぜないようにしてください。

雑誌・その他の紙

雑誌は付録を外して束ね、その他の紙は紙袋に入れてください。汚れた紙やカップ麺、アイス、ヨーグルト、洗剤の紙容器などは燃やすごみです。

段ボール

ビニールや粘着テープを外し、折りたたんで束ねてください。箱のまま出したり、中に他の段ボール、雑誌などを入れて出さないでください。

紙パック

「紙パックマーク」を確認してください。洗って切り開き、乾かして束ねてください。内側がアルミ貼りのものは燃やすごみに出してください。

古布

衣類、シーツ、毛布、カーテンなどを洗濯して乾かし、透明または半透明の袋に入れて出してください。雨の日には出さないでください。

アルミ缶・スチール缶

自治会・町内会によっては、アルミ缶・スチール缶も資源集団回収で回収しているので確認してください。アルミ缶とスチール缶は分けてください。

缶・びん・ペットボトル

缶

残っている中身を捨てて軽くすすいでからつぶさずに出してください。金属製のふたやキャップは小さな金属類に出してください。

びん

食べ物や飲み物が入っていたびんが対象になります。化粧品のびんなど、食べ物や飲み物以外が入っていたびんは燃えないごみで出してください。

ペットボトル

「PETマーク」を確認してください。中身を捨て、軽くすすいでください。キャップとラベルは外して、プラスチック製容器包装に出してください。

プラスチック製容器包装

「プラマーク」を確認してください。中身を使い切り、軽くすすいでください。商品が入っていたポリ袋、ラップ類、緩衝材も出せます。

スプレー缶

中身を全部使い切ってからキャップを外し、透明または半透明の袋に入れて出してください。危険なので缶に穴をあけないでください。

小さな金属類

30cm未満の金属製品です。傘の骨は30cm以上でも出せます。ペンキ缶などは中身を使い切り、刃物などは紙で包んで品名を書いて出してください。

乾電池

マンガン乾電池、アルカリ乾電池、リチウム一次電池などが対象です。ボタン電池や充電式電池は販売店などにあるそれぞれの回収ボックスへ出してください。

粗大ごみ

金属製品は一番長い辺が30cm以上のもの、プラスチック商品、木製品などは50cm以上のものです。電話、インターネットまたはチャットで事前のお申し込みが必要です。

●粗大ごみ受付センター
☎0570-200-530　045-330-3953
(月～土　8:30～17:00年末年始以外は祝日も受付)

●インターネット受付

●チャット案内・申込みサービス
(チャットボット)

燃やすごみ

台所の生ごみやプラスチック製品、汚れた紙などが対象です。水気が多い生ごみはできるだけ水を切ってから出してください。

燃えないごみ

化粧品のびんなどのガラス類、陶器類、蛍光灯・電球などです。購入時の箱や新聞紙、厚紙などで包み、品名を書いて出してください。

RD NEWS 2023 Spring No. 291
Y-SDGs - standard -
横浜型地域貢献企業最上位認定取得

出前講師、リサイクルポート山ノ内見学会を再開します！

長らく受付を停止しておりました、「移動リサイクル教室出前講師」と「リサイクルポート山ノ内見学会」ですが、4月から受付を再開いたします。

「出前講師」とは、小学校、もしくは自治会・町内会、地域の皆様のもとへ私たちリサイクル組合のスタッフが訪問し、3Rや分別の重要性について講義する出張授業です。分別について詳しく知りたい方、自分たちが出した資源物はどのようにリサイクルされているのか知りたい方など、環境学習としてご利用してください。

また、現場を生で見てみたい！という方には、リサイクルポート山ノ内見学会がおススメです。リサイクルポート山ノ内には、市内で集められた古紙や古布が集積されています。働く重機の様子や、古紙が山積みになっている様子など、迫力ある倉庫内見学が可能です。

いずれも申込条件には一部利用制限等設けておりますので、詳しくはお問い合わせをいただくか、組合のHPをご確認ください。

小学生向けの
出前講師の様子

リサイクルポート
山ノ内の見学会の様子

自治会・町内会での
出前講師の講義

リサイクル組合の「再生品」

ティッシュペーパー
「コアレックスティシュー」

資源回収された牛乳パックからリサイクルした製品です。フィルム包装のためコンパクトで運びやすいサイズです。しっとりした手触りで表面もしっかり目が詰まっています。

1ケース **5,480円**
(6パック入り×10／60パック)

トイレットペーパー
「業務用ワンタッチコアレス」

横浜市内で回収された古紙を原料にした地産地消のリサイクル製品です。ふんわりした手触りでしっかり目が詰まっています。芯なしなので最後はそのままトイレに流せます。

1ケース **4,980円**
(6ロール入り×10／60ロール)

●ご注文・お問い合わせ　横浜市資源リサイクル事業協同組合　事務局　TEL：045-444-2531　E-mail：mail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザインのバックナンバーは、ホームページからもご覧いただけます。
http://www.recycledesign.or.jp/rd/

スマホ、タブレットなどはこちらのQRコードからアクセスできます。▶

リサイクルデザインの発行予定	2023年夏号：6月25日	2023年秋号：9月25日	2023年冬号：12月25日	2024年春号：3月25日

リサイクルデザイン 発行所：横浜市資源リサイクル事業協同組合 〒221-0054 横浜市神奈川区山内町13番地 TEL：045(444)2531